PFAS に関する Q&A

（掲載日：R8.2.17）

人の健康への影響について

Q１　身体にどのような影響がありますか？

PFOS、PFOA は、動物実験では、肝臓の機能や仔動物の体重減少等に影響を及ぼすことが指摘されています。また、人においてはコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されています。しかし、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについては十分な知見はありません。

そのため、現在も国際的に様々な知見に基づく基準値等の検討が進められています。また、国内において、PFOS、PFOA の摂取が主たる要因と見られる個人の健康被害が発生したという事例は確認されておりません。

「PFOS、PFOA に関する Q&A 集(2024 年 8 月時点)環境省」

Q2　体内に入った PFAS は残留するのですか？

体内に入っても、徐々に対外に排出されます。

欧州食品安全機関によると、新たな摂取がない場合に人の体内の濃度が半分になるまでの時間（半減期）は PFOS で平均 5.7 年、PFOA で平均 3.2 年とされています。

「PFOS、PFOA に関する Q&A 集(2024 年 8 月時点)環境省」

Q３　今後、健康面、食生活で気を付けることは？

（Q１参照）

どのような食品に PFOS や PFOA といった PFAS が含まれているのかについては、国においても明確な情報はありません。

国では様々な産地で収穫・水揚げされた、様々な品目を摂取する等、引続きバランス良く摂取いただくことがまずは重要とされています。

（農林水産省 Q＆A R6.8.6 更新）

Q４　皮膚から吸収されるか？PFAS はどのような経路で体内に取り込まれるのか？

ヒトが PFAS にばく露（＝直接、接したり、取り込まれる）される経路としては、食事及び飲料に加え、食品包装や粉じんの摂取、カーペットや衣類等からの摂取等が考えられますが、海外の報告によると、生活環境等により異なるものの、食事による摂取が（PFAS へのばく露に）最も大きく寄与していると考えられています。

（環境省 HP　よくある質問 Q7）

Q５　フッ素コーティングのフライパンを使っているが、大丈夫か？身の回りの製品はどうか？

身の回りの製品には、フッ素樹脂でコーティングされたフライパンやフッ素系撥水剤を用いた撥水スプレー等がありますが、これらに用いられるフッ素化合物は PFOS・PFOA とは別の物質が使われています。PFOA は、かつてフッ素コート剤の製造過程で使用されていましたが、国内での製造・輸入禁止に先立つ企業の自主的な取組で、このような使用は全廃されています。

PFOS は、日本国内で家庭用品の製造に使用されていたという報告はありません。また、PFOA は、カーペット等の繊維製品等にも使用されていましたが、2019 年に行われた６歳以下の子どもに着目したリスク評価で、これらの製品等を使用し続けても、そのリスクは、懸念されるレベルにはないとされました。

（環境省 HP　よくある質問 Q4）

Q ６　健康影響に関する血中濃度の基準はないのですか。
PFOS、PFOA の血液検査を受ければ健康影響を把握できますか。

血液検査により数値を知ることができますが、現時点での知見では、どの程度の血中濃度でどのような健康影響が個人に生じるかについては明らかとなっていません。このため、血中濃度に関する基準を定めることも、血液検査の結果のみをもって健康影響を把握することも困難なのが現状です。

（「PFOS、PFOA に関するＱ＆Ａ集 2024 年８月時点」P８　環境省）